



2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 note株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5243 URL https://note.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 加藤 貞顕
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第2四半期の業績（2022年12月1日～2023年5月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	1,347	—	△309	—	△343	—	△344	—
2022年11月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年11月期第2四半期	△22.98		—					
2022年11月期第2四半期	—		—					

(注) 1. 2022年11月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年11月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2023年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	3,281	1,612	49.1
2022年11月期	3,303	1,817	55.0

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 1,612百万円 2022年11月期 1,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年11月期	—	0.00			
2023年11月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	23.0	△630	—	△650	—	△650	—	△43.15
	~3,150	~35.9	~△430		~△450		~△450		~△29.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. レンジ形式による開示としております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年11月期2Q	15,142,000株	2022年11月期	14,617,900株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年11月期2Q	一株	2022年11月期	一株
-------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年11月期2Q	14,987,869株	2022年11月期2Q	一株
-------------	-------------	-------------	----

(注) 2022年11月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年11月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について

当社は、2023年7月14日（金）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の沈静化による経済活動の正常化が進む一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化を背景とする資源価格の高騰や米国を中心とするインフレ加速に対する政策金利の引き上げ、商品・サービスの値上げによる物価高等により、経済・消費動向は依然不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社は、note事業（クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」の運営）、note pro事業（法人向け情報発信SaaS「note pro」の運営）、法人向けサービス事業（「note」上での企業協賛型コンテストの実施など）を主要な事業として展開してまいりました。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2023年5月末時点で累計会員登録者数は663万人、公開コンテンツ数は3,490万件となりました。当第2四半期会計期間における流通総額は3,318百万円（前年同期比118.1%）となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、noteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上により引き続き利用企業は増加しており、2023年5月末時点でARR^{(注)1}は416百万円（前年同期比136.5%）となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,347,488千円となりました。内訳は、note売上高1,068,863千円、note pro売上高200,747千円、法人向けサービス売上高71,176千円、その他売上高6,700千円です。一方、自社サービスを拡大するため人材採用やプロダクトの開発コストが先行した結果、営業損失は309,842千円、経常損失は343,616千円、四半期純損失は344,398千円となりました。

なお、当社はメディアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR^{(注)2}を12倍したものである。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べ34,458千円減少し、3,161,234千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などにより未収入金が112,122千円、受取手形及び売掛金が28,250千円増加した一方で、自社サービスを拡大するため人材採用やプロダクトの開発コストが先行した結果、四半期純損失が発生したことなどにより現金及び預金が188,080千円減少したことなどによります。

固定資産は前事業年度末に比べ12,822千円増加し、120,209千円となりました。これは主に、本社及びイベントスペースの移転に伴う移転先への保証金の差入などにより、投資その他の資産が15,585千円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べ21,636千円減少し、3,281,444千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ263,395千円増加し、1,588,713千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などによりクリエイター向けの預り金が増加したため、預り金が151,706千円増加したこと、また、長期借入金からの振替により1年内返済予定の長期借入金が80,000千円増加したことなどによります。

固定負債は前事業年度末に比べ80,000千円減少し、80,000千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が80,000千円減少したことによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ183,395千円増加し、1,668,713千円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ205,031千円減少し、1,612,730千円となりました。これは、株式上場による新株式の発行などにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ69,683千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が344,398千円減少したことによります。

以上により当第2四半期会計期間末の自己資本比率は49.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末より188,080千円減少し、2,000,569千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、271,802千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などによりクリエイター向けの預り金が増加したことなどによる預り金増加額151,706千円により資金が増加した一方で、サービスを拡大するため人材採用やプロダクトの開発コストが先行した結果発生した税引前四半期純損失343,048千円及び「note」の流通総額の伸長などによる未収入金の増加額112,122千円により資金が減少したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、55,644千円となりました。これは主に、本社及びイベントスペースの移転に伴う移転先への保証金の差入による支出52,858千円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は、139,367千円となりました。これは、主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う株式の発行による収入125,683千円などによります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の業績予想につきましては、2023年4月14日に公表した通期の業績予想から変更はありません。また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,188,649	2,000,569
受取手形及び売掛金	136,142	164,392
仕掛品	845	—
未収入金	818,555	930,678
その他	51,500	65,594
流動資産合計	3,195,693	3,161,234
固定資産		
有形固定資産	19,375	16,612
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	88,011	103,596
固定資産合計	107,386	120,209
資産合計	3,303,080	3,281,444
負債の部		
流動負債		
買掛金	611	616
1年内返済予定の長期借入金	—	80,000
未払法人税等	2,700	12,657
預り金	1,091,882	1,243,589
その他	230,124	251,851
流動負債合計	1,325,318	1,588,713
固定負債		
長期借入金	160,000	80,000
固定負債合計	160,000	80,000
負債合計	1,485,318	1,668,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	169,683
資本剰余金	2,562,103	2,631,786
利益剰余金	△844,341	△1,188,740
株主資本合計	1,817,761	1,612,730
純資産合計	1,817,761	1,612,730
負債純資産合計	3,303,080	3,281,444

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,347,488
売上原価	104,261
売上総利益	1,243,226
販売費及び一般管理費	1,553,068
営業損失(△)	△309,842
営業外収益	
受取利息	9
違約金収入	1,736
その他	1,158
営業外収益合計	2,904
営業外費用	
支払利息	378
事務所移転費用	27,739
上場関連費用	7,838
その他	722
営業外費用合計	36,679
経常損失(△)	△343,616
特別利益	
固定資産売却益	567
特別利益合計	567
税引前四半期純損失(△)	△343,048
法人税、住民税及び事業税	1,350
法人税等合計	1,350
四半期純損失(△)	△344,398

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△343,048
減価償却費	5,575
固定資産売却損益(△は益)	△567
受取利息	△9
支払利息	378
事務所移転費用	27,739
売上債権の増減額(△は増加)	△28,250
棚卸資産の増減額(△は増加)	845
仕入債務の増減額(△は減少)	4
未収入金の増減額(△は増加)	△112,122
未払金の増減額(△は減少)	△21,554
未払費用の増減額(△は減少)	4,533
契約負債の増減額(△は減少)	25,209
預り金の増減額(△は減少)	151,706
その他	33,657
小計	△255,903
利息の受取額	9
利息の支払額	△378
法人税等の支払額	△2,701
法人税等の還付額	1
事務所移転費用の支払額	△12,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,227
有形固定資産の売却による収入	567
敷金及び保証金の差入による支出	△52,858
敷金及び保証金の回収による収入	473
その他	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	125,683
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	139,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,080
現金及び現金同等物の期首残高	2,188,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,000,569

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月21日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2022年12月20日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式210,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ32,844千円増加しております。

また、2023年1月23日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式191,800株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ29,997千円増加しております。

さらに、当第2四半期累計期間における新株予約権（ストックオプション）の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,842千円増加し、この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が169,683千円、資本剰余金が2,631,786千円となっております。